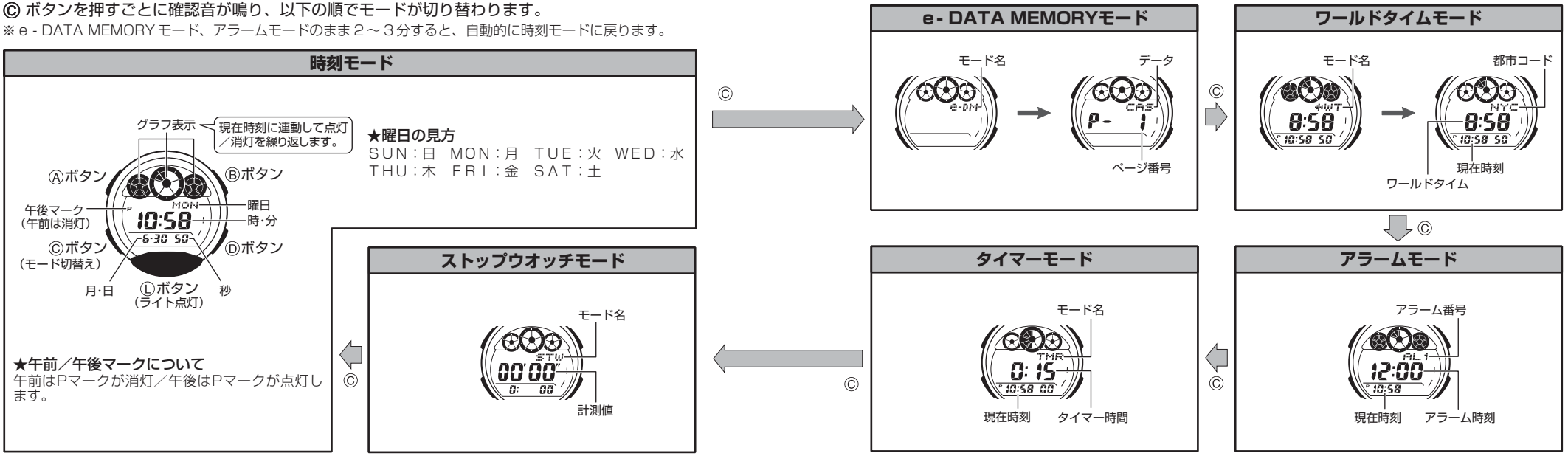
Operation Guide 3079

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※ e - DATA MEMORY モード、アラームモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛ ボタンを押すとライトが点灯します。
また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

どのモードのときでも、

Ⓛ ボタンを押します



➡約 1.5 秒間文字板が点灯します。
※オートライトの ON ／ OFF にかかわらず、Ⓛ ボタンを押すと点灯します。

■ 時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくてもライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモード（修正中も含む）のときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、Ⓛボタンを約1秒間押し続けて、オートライトON（✲点灯）にします。

※オートライトONのとき、Ⓛボタンを約1秒間押し続けるとオートライトOFF（✲消灯）に戻ります。
※オートライトのON／OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。



●文字板を点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「左手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

〈オートライトご使用時の注意〉
- オートライトが作動するのは、"✲"を点灯させてから**約6時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に"✲"が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛボタンを約1秒間押し続けて"✲"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。
- 本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

CASIO

e - DATA MEMORYの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、e - DATA MEMORYモードにします。

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1 件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1 件あたり 63 文字のデータを入力した場合、5 件まで記憶できます（1 件あたり 64 文字以上のデータは入力できません）。
- 1 件あたり 7 文字のデータを入力した場合、40 件まで記憶できます（1 件あたり 6 文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります）。

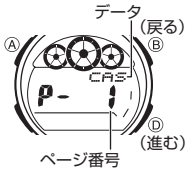
※ e - DATA MEMORY モードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

* パスワード機能については「パスワード機能について」参照。

■ データのサーチ

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



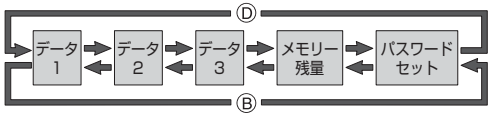
➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※データを４文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に "◀" マークがつきます）。Ⓐボタンを押すと表示が止まり、もう一度Ⓐボタンを押すと動きだします。

※データ入力をしたページとメモリー残量、パスワードセットのページを表示します。
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量 "100%" とパスワードセットのページのみ表示します。

例）データを３件入力したとき



■ データを入力する

1. メモリー残量のページにする

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します



➡メモリー残量のページになります（右図）。

※ "0%" と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

* 「データの修正／消去」参照。

2. セット状態にする

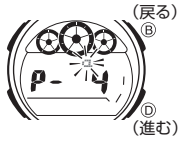
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡データの 1 桁目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡押すごとに点滅箇所が右に 1 つ移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

手順 *3.*～*4.* の操作を繰り返して、データを入力します

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　a～z
- 英大文字　A～Z
- 数字　0～9
- 記号　＊－＿@~ ／＼？＃！%.：；',"＾＆＝＋ ()

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡"SET" 表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、*1.*～*5.* の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

■ データの修正／消去

1. **ⒹまたはⒷボタンを押して修正／消去したいデータを選びます**

2. **Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます**

➡データの 1 桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

★データ修正➡ Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。

★データ消去➡ Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。"CLR" 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. **修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます**

※ データを消去すると、後ろのページが１ページずつ繰り上がります。

■ パスワード機能について

パスワード機能とは、４桁の番号を入れないとデータを呼び出せない機能です。
他人に見られたくないデータ保存に便利です。

●パスワードの登録

1. パスワードセットのページにする

e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡パスワードの 1 桁目が点滅します。

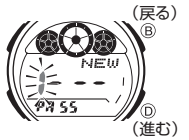
※ もう一度Ⓐボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります（この場合、パスワードは登録されません）。

3. パスワードを入力する

a. 数字を入れる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

b. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します



➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。

※ 数字を入力してから桁を移動させてください。

a.～b. の操作を繰り返して、パスワードを入力します

4. 4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



➡“SET”表示後、点滅が止まり、登録完了です。

※4桁の番号を入力後、Ⓒボタンを押さないとパスワードは登録されません。

※パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再びe-DATA MEMORYモードに戻ると、パスワード入力表示となります。

＜ご注意＞

●パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

●パスワードの入力

パスワードを登録すると、e-DATA MEMORYモードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

＜パスワード入力表示＞



※パスワードを登録している場合

1. パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、a.～b.の操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します

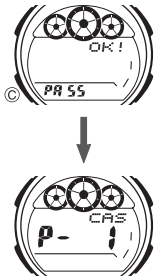


※数字を入力してから桁を移動させてください。

※Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、入力を途中でやめることができます。

2. 4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



➡パスワードが合っているときは、“OK！”表示後、データを表示します。

➡パスワードが間違っているときは、“ERR”表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。

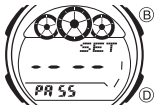
●パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます（パスワードを変更しても、データに影響はありません）。

準備：「パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡パスワードの 1 桁目が点滅します。

※ もう一度Ⓐ ボタンを押すと、点滅が止まり、変更を途中でやめることができます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3. 新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、a.～b.の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します



※数字を入力してから桁を移動させてください。

4. 4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します



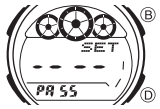
➡“SET”表示後、点滅が止まり、変更完了です。

●パスワードの消去（パスワード機能の解除）

準備：「パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡パスワードの 1 桁目が点滅します。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3. パスワードを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します



➡“CLR”表示後、パスワードが消去されます。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を知ることができる機能です。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます（「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡各都市の時刻を表示します。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

★表示の見方



※都市コードのない地域は時差を表示します。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます



➡Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けるごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT"表示のときはサマータイムの設定はできません。

■都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
ーーー		−11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、イスタンブール
HNL	ホノルル	−10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ、ナイロビ、リヤド
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ、マスカット
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス／フォートワース	KBL	カブール	+4.5	
				KHI	カラチ	+5	マーレ
				DEL	デリー	+5.5	コロンボ
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、リマ、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ、ラパス	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
ーーー		−2					
ーーー		−1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン、リスボン	SYD	シドニー	+10	グアム、ラバウル
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2007年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。
※都市コードのない地域「ーーー」では時差を表示します。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

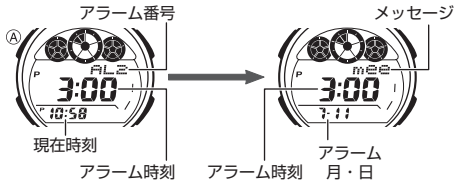
■ アラームの使い方

●アラームについて

本機には、月・日・時・分とメッセージ（最大８文字）をセットできるアラームが５本あります。
（通常アラーム４本／スヌーズアラーム１本）

★通常アラーム（AL1 ～ AL4）
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。

★スヌーズアラーム（SNZ）
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴り、５分おきに合計７回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。



※メッセージを入力したときは、アラーム番号を表示後、メッセージを表示します。
※メッセージを４文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（メッセージの最後に “◀” マークがつきます）。
※月・日をセットしたときは、現在時刻を表示後、月・日を表示します。

●アラーム時刻のセット

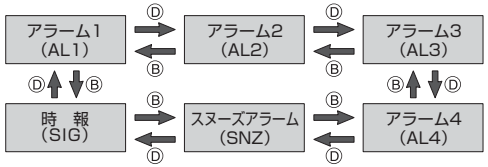
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ またはⒷボタンを押します



➡ Ⓓ またはⒷボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

※スヌーズアラームのときは、スヌーズアラームインジケーター “SNZ” が点灯します。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



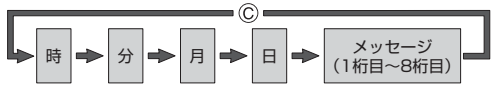
➡「時」が点滅します。
※ アラームマーク “ALM” が点灯して、自動的にアラーム ONになります。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字（文字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「月」をセットしないときは “－” を、「日」をセットしないときは “－－” を表示させます。

手順 *3.* ～ *4.* の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※「時」のセットのとき午前／午後、または 24 時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。
※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす ➡「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす ➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす ➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす ➡「月・日・時・分」全てセット

※メッセージは最大８文字まで入力できます。入力できる文字は以下の通りです。

- **英小文字** a～z
- **英大文字** A～Z
- **数字** 0～9
- **記号** ＊－＿@~ ／＼?＃！%.：；' ,” ^ &＝＋ ()

※表示が点滅しているとき、Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すと、メッセージが消去され、アラーム時刻が午前 12：00（「時・分」のみセット）になります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームの ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとにアラームの ON ／ OFF が切り替わります。
※アラームマーク “ALM” が点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。

<アラーム表示>



<スヌーズアラーム表示>



●設定した時刻の 1 時間前になると

設定した時刻の1時間前になると、時刻モードで全てのグラフ表示が点滅して知らせてくれます（プレアラーム機能）。
※プレアラーム機能は、設定した時刻まで継続します。
※いずれかのボタンを押すと点滅が止まり、プレアラーム機能が解除されます。
※Ⓒ・Ⓛ ボタンを押した場合、プレアラーム機能の解除と同時に、各ボタン本来の機能も作動します。
Ⓒ ＝モード切替え
Ⓛ ＝ライト点灯

●設定した時刻になると

設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。
※メッセージを入力したときは、設定した時刻になると、時刻モードで１分間メッセージを表示します（右図）。

<時刻モード>



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。
※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中は “SNZ” が点滅します）。
※「アラームの ON ／ OFF 設定」の手順でスヌーズアラームを選び、“SNZ” マークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

<ご注意>
●“SNZ” 点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- 時刻モード、アラームモード（スヌーズアラーム表示）でセット状態に入ったとき。
- ワールドタイムモードでホームタイム都市のサマータイムを ON にしたとき。

●基本時刻セット、スヌーズアラームセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、１回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ 時報の使い方

●時報について

毎正時（00分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ またはⒷ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。

※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



時報マーク

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が15分で設定されています。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

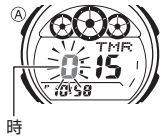
★オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。



時

2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

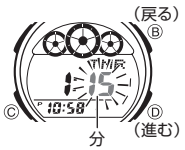
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ 1分単位で24時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。



3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様にⒹ または Ⓑ ボタンでセットします。

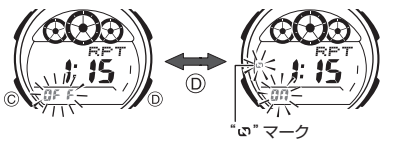


4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON／OFFが切り替わります。
※ オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

<リピートタイマー> <オートリピートタイマー>



5. セットを終わる

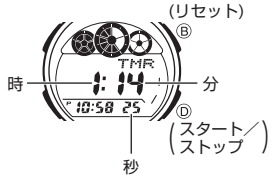
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。
※計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。



★計測ストップ後、Ⓑボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

CASIO

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

2. 時報に合わせてⒹボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

2. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡ON またはOFFが点滅します。

Ⓓボタンを押します

➡ON またはOFFが切り替わります。

※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）

3. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。



ⒹまたはⒷボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（「都市コード一覧」参照）

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

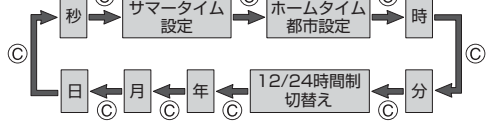
例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを"TYO"に設定します

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. ⒹまたはⒷボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替えは、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前／午後、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

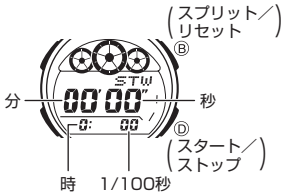
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。

※計測ストップ、スプリット計測時はボタンを押したタイミングよりもやや遅れて表示されることがありますが、計測は正しく行なわれています。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。